



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社MCJ

コード番号 6670 URL <http://www.mci.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼会長

(氏名) 高島 勇二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 石戸 謙二

TEL 03-6739-3991

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	78,034	4.4	5,874	48.2	5,787	55.5	4,108	79.6
28年3月期第3四半期	74,740	△1.5	3,962	△0.2	3,721	△7.2	2,287	△13.1

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 2,721百万円 (82.3%) 28年3月期第3四半期 1,492百万円 (△33.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第3四半期	84.48	—
28年3月期第3四半期	47.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	55,860	26,900	47.4
28年3月期	50,681	24,811	48.3

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 26,464百万円 28年3月期 24,456百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	25.27	25.27

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	105,288	1.9	7,021	35.9	7,364	46.9	4,914	59.2	101.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4頁「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	50,862,300 株	28年3月期	50,862,300 株
29年3月期3Q	2,231,100 株	28年3月期	2,231,034 株
29年3月期3Q	48,631,236 株	28年3月期3Q	48,631,266 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<連結経営成績の概要>

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の緩やかな回復が見られる中、新興国経済の減速や、英国のEU離脱問題、米国の大統領選挙等により為替相場の乱高下が生じる等、先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの属するパソコン業界においては、世界市場での総出荷台数は、市場の低迷を受けて、前年同四半期比で、引き続き減少しました。国内市場については、第2四半期（平成28年7～9月）に引き続き、当第3四半期（平成28年10～12月）のパソコン出荷台数、出荷金額ともに前年同四半期を若干上回り、当第3四半期累計期間（平成28年4～12月）においても前年同四半期とほぼ同水準（社団法人電子情報技術産業協会調べ）となりました。

このような状況の中、当社グループは、「mouse」をメインブランドとするBTO（受注生産）及び完成品パソコンの製造・販売と、「iiyama」ブランドによるモニタの欧州販売を中心に、マーケットのニーズを的確に汲み取りながら事業を展開するとともに、クリエイター向けパソコン「DAIV」、ゲーム向けパソコン「G-Tune」等の高付加価値、特化型商品の企画・販売についても引き続き積極的に取り組んでまいりました。

また、mouseブランドの認知度向上や国内パソコン市場におけるマーケットシェアの拡大を目指して、継続的に展開している、テレビCM等のマスメディア向けの広告宣伝効果による売上高及び利益率の伸長や、欧州でのモニタ販売が引き続き好調なこと等により、積極展開した広告宣伝等の先行投資費用を吸収し、当第3四半期連結累計期間の売上高は78,034百万円（前年同四半期比4.4%増）、営業利益は5,874百万円（同48.2%増）、経常利益は5,787百万円（同55.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,108百万円（同79.6%増）となり、売上高、各利益ともに、第3四半期連結累計期間の過去最高を達成しました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

①パソコン関連事業

「mouse」ブランドをメインとしたパソコンの国内製造・販売部門においては、平成28年3月期より引き続き実施しているテレビCMや交通広告等の広告宣伝効果による認知度向上で、売上高、営業利益とも、大幅に増加しました。

「iiyama」ブランドによるモニタの欧州販売部門においては、タッチパネルモニタ、デジタルサイネージ製品やハイエンド製品の販売が引き続き好調であること等により、為替変動の影響も吸収し、売上高、営業利益ともに前年同四半期比で大幅に増加しました。

「パソコン工房」、「グッドウィル」等、全国に店舗展開する小売部門においては、前年度に実施した不採算店舗の撤退により、売上高は前年同四半期比で減少したものの、サポート・サービス関連事業が引き続き好調であったことを受けて、営業利益は増加しました。

パソコン及びCPU・マザーボード・HDD等パソコン基幹パーツの代理店販売・卸売部門においては、パソコンパーツ単体の販売が苦戦したことから、売上高は微減したものの、法人向けのパソコン需要の好調や、利益率の高い新カテゴリ製品が引き続き伸展したことにより、営業利益は増加しました。

これらの結果、当事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は75,444百万円（前年同四半期比5.1%増）、営業利益は5,604百万円（同50.3%増）となりました。

②総合エンターテインメント事業

総合エンターテインメント事業においては、「aprecio」ブランドで複合カフェ店舗の運営を行っており、事業譲受等により直営店舗数が増加したものの、既存店の撤退や店舗改装費用等の発生により、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,604百万円（前年同四半期比15.2%増）、営業利益は256百万円（同8.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は55,860百万円となり、前連結会計年度末と比べて5,178百万円の増加となりました。これは主に、固定資産や子会社株式の売却等により有形固定資産やのれん等が減少したものの、受取手形及び売掛金、たな卸資産が増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は28,959百万円となり、前連結会計年度末と比べて3,089百万円の増加となりました。これは主に、借入金が増加したものの、買掛金等の営業取引に係る債務が増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は26,900百万円となり、前連結会計年度末と比べて2,089百万円の増加となりました。これは主に、為替換算調整勘定の減少等によりその他の包括利益累計額の減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間の業績につきましては、平成28年10月31日に公表しました予想数値に対し概ね順調に進捗しており、通期の連結業績予想の修正を必要としない範囲で推移しております。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

当社グループは、主力事業であるパソコン関連事業においてマーケットのニーズを的確に汲み取りながら、平成28年5月13日に公表しました2019年度を最終年度とする中期経営計画に基づき、広義のITデバイス製品のタイムリーな開発・仕入れ・販売等を通じて、従来から持つ競争力を引き続き強化するとともに、M&A等により進出した新規事業分野を積極的に育成し、連結業績予想及び中期経営計画の達成に向けて経営努力を重ねてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。また、セグメント情報に与える影響は軽微であるため、記載を省略しています。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,050,718	13,991,981
受取手形及び売掛金	10,889,514	12,383,673
商品及び製品	12,667,198	15,306,089
仕掛品	114,636	326,885
原材料及び貯蔵品	2,828,099	4,644,983
その他	2,490,599	2,059,184
貸倒引当金	△240,318	△11,052
流動資産合計	42,800,447	48,701,746
固定資産		
有形固定資産	4,654,492	4,270,852
無形固定資産		
のれん	1,119,266	729,309
その他	691,811	584,225
無形固定資産合計	1,811,078	1,313,534
投資その他の資産		
その他	1,489,545	1,648,579
貸倒引当金	△74,272	△74,644
投資その他の資産合計	1,415,272	1,573,935
固定資産合計	7,880,844	7,158,322
資産合計	50,681,291	55,860,068
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,542,306	9,580,678
短期借入金	5,186,685	5,936,183
未払法人税等	665,312	878,164
製品保証引当金	681,758	697,565
その他の引当金	324,043	451,256
その他	3,006,833	3,445,868
流動負債合計	16,406,939	20,989,717
固定負債		
長期借入金	8,392,709	7,011,268
退職給付に係る負債	289,305	294,658
その他	781,034	663,936
固定負債合計	9,463,048	7,969,863
負債合計	25,869,988	28,959,580

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,849,104	3,849,104
資本剰余金	8,502,982	8,502,982
利益剰余金	12,242,819	15,718,759
自己株式	△470,048	△470,098
株主資本合計	24,124,858	27,600,747
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	251,681	△1,184,185
退職給付に係る調整累計額	79,695	47,964
その他の包括利益累計額合計	331,376	△1,136,221
非支配株主持分	355,068	435,961
純資産合計	24,811,303	26,900,487
負債純資産合計	50,681,291	55,860,068

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	74,740,999	78,034,401
売上原価	59,297,247	59,585,818
売上総利益	15,443,752	18,448,583
販売費及び一般管理費	11,480,777	12,574,369
営業利益	3,962,974	5,874,213
営業外収益		
受取利息	25,046	26,101
受取配当金	75	-
負ののれん償却額	13,814	13,814
受取手数料	47,091	51,503
その他	49,922	77,080
営業外収益合計	135,949	168,499
営業外費用		
支払利息	58,125	34,888
為替差損	104,290	174,346
貸倒引当金繰入額	183,000	-
その他	31,560	46,230
営業外費用合計	376,976	255,465
経常利益	3,721,947	5,787,248
特別利益		
固定資産売却益	8,788	436,215
関係会社株式売却益	2,908	112,683
特別利益合計	11,696	548,899
特別損失		
固定資産売却損	-	367
固定資産除却損	1,156	1,899
減損損失	117,438	199,256
訴訟関連損失	-	195,371
訴訟損失引当金繰入額	-	193,614
賃貸借契約解約損	12,638	1,932
投資有価証券評価損	119,618	-
災害による損失	-	11,351
その他	278	-
特別損失合計	251,130	603,792
税金等調整前四半期純利益	3,482,513	5,732,354
法人税、住民税及び事業税	1,001,209	1,584,516
法人税等調整額	166,804	△41,214
法人税等合計	1,168,014	1,543,302
四半期純利益	2,314,499	4,189,052
非支配株主に帰属する四半期純利益	27,334	80,906
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,287,164	4,108,146

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	2,314,499	4,189,052
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,191	-
為替換算調整勘定	△791,560	△1,435,866
退職給付に係る調整額	△31,539	△31,731
その他の包括利益合計	△821,909	△1,467,597
四半期包括利益	1,492,589	2,721,454
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,465,255	2,640,548
非支配株主に係る四半期包括利益	27,334	80,906

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パソコン 関連事業	総合エンター テインメント 事業	ICT関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	71,768,800	2,258,527	713,671	74,740,999	—	74,740,999
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,561	2,128	8	19,698	△19,698	—
計	71,786,362	2,260,656	713,679	74,760,697	△19,698	74,740,999
セグメント利益又は セグメント損失(△)	3,730,032	280,373	△86,401	3,924,003	38,971	3,962,974

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額38,971千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△389,269千円、セグメント間取引消去427,310千円、その他の調整額930千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パソコン 関連事業	総合エンター テインメント 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	75,431,680	2,602,721	78,034,401	—	78,034,401
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,953	1,642	14,596	△14,596	—
計	75,444,634	2,604,363	78,048,998	△14,596	78,034,401
セグメント利益	5,604,426	256,653	5,861,079	13,134	5,874,213

(注) 1. セグメント利益の調整額13,134千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△406,539千円、セグメント間取引消去419,557千円、その他の調整額115千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間の期首において、「ICT関連事業」を構成していたティアクラス株式会社を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。これに伴い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントは、「パソコン関連事業」及び「総合エンターテインメント事業」となっております。